

2003年11月18日

東京外国為替市場委員会 第68回会合 議事録

開催日時	2003年10月22日 13:00～15:30
場 所	日本銀行本店 新館9階大会議室
議 長	荻野 哲司（東京三菱銀行）
副 議 長	加島 章雄（みずほコーポレート銀行）
副 議 長	梨本 忠彦（パークレイズ銀行）
書 記	川添 敬（日本銀行）
委 員	14名（別紙）

・委員改選の件

荻野議長（東京三菱銀行）より、稲村委員（シティバンク）の委員としての任期（2年）が満了したこと、および、再任のために立候補する意思が示されたことが報告されました。

続いて、提出書類に基づく審査、立候補者の所信表明を経て、委員による投票が行われ、全会一致で選任されました。また、稲村委員のNDF小委員長への再任も承認されました。

・小委員会活動報告

1. 運営小委員会

野手小委員長（三井住友銀行）より、「決済小委員会」の設置に関して、以下の小委員会案が提出され、了承されました。

1) 海外の主要な市場委員会の動向に鑑み、当委員会としても、バックオフィスが関係する諸問題に対応するための組織を設置することが急務との認識に基づき、CLS小委員会を発展的に改組して「決済小委員会」を設置する。

2) 委員会は常設とし、小委員長には市川現CLS小委員長が就任する。

続いて、市場委員会綱要について、小委員会で引き続き検討することが合意されました。

2. 市場調査小委員会

竹中オブザーバー（みずほコーポレート銀行）より、EBS社プロダクト”Prime Broker”に関して10月20日に行われた小委員会につき、以下の通り報告がありました。（以下、Prime Broker = PB、Prime Broker Bank = PBB、PBC = Prime Broker Customer とそれぞれ略）

1) EBS 社より以下の報告があった。

Dealing Rule については、新たに PB 用のものを作成し、既存の Dealing Rule は改訂しない。

PBB コンタクトリストのフォーマットは統一されていない。

2) 市場委員会として認識している論点を整理すると、以下の通り。

PBC の行為に対する、PBB としての責任の認識について

PBC のクライテリアについて

PB の Legal Framework について

1PBC に対し複数の PBB の設定を可能とした場合の問題の有無について

PBB コンタクトリストの用途について

3. Code of Conduct 小委員会

中島小委員長（スタンダードチャータード銀行）より、Code of Conduct（通称「オレンジブック」）のドラフトについて形式面の最終調整を継続中であり、11 月上旬には印刷・製本が完了する予定との報告がありました。

4. 教育小委員会

今井教育小委員長（UFJ 銀行）より、次回セミナーの内容等について、引き続きフォレックスクラブと協議中である旨、報告がありました。

5. NDF 小委員会

稲村小委員長（シティバンク）より、NDF Small Group Conference に関連して、以下の報告があり、了承されました。

1) 前回のコンファレンスの後、シンガポール市場委員会から以下の内容のメールを受け、これに対する回答を求められた。

Polling Bank については、on-shore 参加者には現地当局の意向に左右される可能性があることを考慮し、off-shore 参加者のみで構成されるべきである。

polling の方法としては、各通貨共通で以下を考えている。

() 一企業では一拠点のみが polling に参加できる。

() polling の参加者数に上限は設けず、最低 8 行の返答を成立条件とする。

() () が満たされた場合、最低と最高のレートを除き、残りの平均値を取る。

2) 小委員会としては、1) 、 についてはシンガポール案に同意。ただ、フォールバックの順序については、下記の提案を行った。

ニューヨーク外為市場委員会・EMTA が提案している NDF コンファメーション・テンプレートでは Fallback の順序を以下のように定義しているが、1st と 2nd を入れ替えたほうが良いというのが我々の認識である。

・ 1st: Fallback Reference Price (Polling Rate)

・ 2nd: Valuation Postponement

・ 3rd: Calculation Agent Determination of Settlement Rate

理由は以下の通り。

- ・ Fallback Reference Price を 1st にすると、INR や CNY でしばしば起こる発表の遅延時にレートの算出が困難になる。
- ・ "Postponement" を 1st にして、2nd fallback (Polling) のトリガーとしたほうが基準が明確となる。

3) コンファレンスコール (10月16日) の内容は以下の通り。

市場が開いているにもかかわらず、レートのソースがアベイラブルでない状態が 14 日続いた場合を、Price Source Disruption とすることで同意が得られた。

on-shore 参加者も polling survey に参加すべきとの意見が出された一方で、survey の方法は各通貨で同一であることが望ましいとの観点から、テスト段階では off-shore 参加者のみで survey を行い、その後に各通貨の特殊な事情 (例えば、韓国ウォン・台湾ドルの NDF 市場では on-shore 参加者が活発な取引を行っている) を考慮するという考えが提出され、次回までに各市場委員会で意見を集約することになった。

各市場委員会がコンファメーション・テンプレートの共同提案者となるかについて、次回までに意見を集約することになった。

4) シンガポール市場委員会から Polling Bank List が送付され、記載された銀行の参加意思の確認を依頼された。

続いて、テンプレートのスポンサーになることの可否について議論がなされ、小委員会に判断を一任することが了承されました。

6. CLS 小委員会

市川小委員長 (みずほ銀行) より、以下の報告がありました。

1) ファンド為替の CLS 決済対応について、CLS 東京事務所の土屋氏より、その背景・現状について、以下の通り説明があった。

カストディアン (信託銀行)・ファンドマネージャーが、投資信託・年金基金の外貨建てポートフォリオの運用に係る為替決済リスクの回避手段として、CLS の利用を検討。ファンド為替の CLS 決済には、以下のようなメリットを指摘可能。

- () ファンドと為替銀行との取引が、インターバンクと同じ CLS 決済となることで、資金の偏在が是正される効果が得られること。
- () Back to Back 取引や他行為替といった、複雑な事務フローを簡素化できること。海外では CLS 決済のテストを予定しているが、国内では、以下の理由のために依然として検討途上。
- () CLS 導入後の事務フローの確定までに多数の関係者による調整が必要。
- () システム対応の負担が大きい可能性。
- () 海外時間で約定した場合、時差の関係から CLS が定める 2 時間ルールが守れないという問題が存在。
- () カストディ銀行 (再受託信託銀行等) が、CLS メンバー行となっていないこと。CLS としては、こうした課題をクリアしつつ、ファンド為替の CLS 決済化を推進したい考え。

2) その他、小委員会からの質問に対する CLS からの回答は以下の通り。

Short Notice Banking Holiday (SNBH) が CLS によって急遽発動された場合、ノストロ口座で決済ギャップが生じ、金繰りに影響を与えるのではないか。

- ・回答：例えば、日銀ネットの稼働延長の際には、稼働終了の 1 時間前までに SNBH の宣言を行い、宣言の 1 時間前には CLS メンバー行に対し宣言の可能性を通知することとしている。

CLS という民間機関が銀行決済の休日を宣言して問題はないのか。

- ・回答：本件については、中銀、当局の承認を経てルール化しているものであり、問題はないと考えている。

(別紙)

東京外国為替市場委員会委員名簿(10月22日現在)

<委員>

議長	荻野 哲司	(東京三菱銀行)
副議長・市場調査小委員長	加島 章雄	(みずほコーポレート銀行)
副議長	梨本 忠彦	(パークレイズ銀行)
書記	川添 敬	(日本銀行)
運営・Eコマース小委員長	野手 弘一	(三井住友銀行)
広報小委員長	神田 紀昭	(ロイター・ジャパン)
教育小委員長	今井 雅人	(UFJ銀行)
法律問題小委員長	武田 敬一郎	(三菱信託銀行)
CLS小委員長	市川 亨	(みずほ銀行)
NDF小委員長	稲村 秀彦	(シティバンク)
Code of Conduct小委員長	中島 尚彦	(スタンダードチャーター銀行)
	河野 文彦	(野村証券)
	花生 浩介	(ロイヤルバンク・オブ・スコットランド)
	竹川 雅祥	(メリルリンチ日本証券)
	伊藤 一雄	(トキョウフォックス上田ハロー)
	大木 一寛	(EBSデイトリングリソースジャパン)

<オブザーバー>

野口 嘉彦	(マネー・ブローカーズ・アソシエーション)
井上 哲也	(日本銀行)
寺澤 英光	(東京三菱銀行)
竹中 浩一	(みずほコーポレート銀行)

(注) 敬称略(順不同)。 は今回出席。